

製品名: クローディン 3 (リン酸化 Tyr219) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04471**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN3
別名	CLDN3; C7orf1; CPETR2; Claudin-3; Clostridium perfringens enterotoxin receptor 2; CPE-R 2; CPE-receptor 2; Rat ventral prostate.1 protein homolog; hRVP1
遺伝子 ID	1365.0
SwissProt ID	O15551
免疫原	抗血清は、ヒトクローディン 3 の Tyr219 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

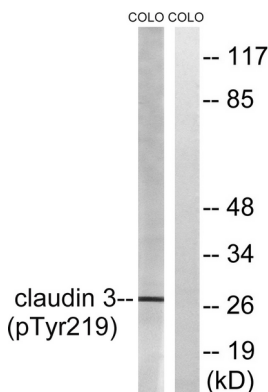
背景

タイトジャンクションは、上皮細胞シートまたは内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシールを形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのジャンクションは、外側を向く細胞質リーフレットの連続したネットワーク鎖と、内側を向く細胞質外リーフレットの相補的な溝で構成されています。このイントロンを含まない遺伝子によってコードされるタンパク質は、クローディンファミリーに属し、膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。また、ウェルシュ菌エンテロトキシンに対する低親和性受容体でもあり、ラットで発見された推定アポトーシス関連タンパク質とアミノ酸配列の相同性を有しています。 [RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：CLDN3 のハプロ不全は、稀な発達障害であるウィリアムズ・ポイレ症候群（WBS）にみられる特定の心血管系および筋骨格系の異常の原因である可能性がある。これは、染色体バンド 7q11.23 の遺伝子が関与する連続遺伝子欠失症候群である。、機能：カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たす。、類似性：クローディンファミリーに属する。、サブユニット：他の CLDN とホモポリマーおよびヘテロポリマーを形成できる。ホモポリマーは CLDN1 および CLDN2 ホモポリマーと相互作用する。TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、および TJP3/ZO-3 と直接相互作用する。、

研究分野

細胞接着分子（CAM）、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



COLO205 細胞ライセートを EGF 200 ng/ml 30 分処理し、Claudin 3（リン酸化 Tyr219）抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンはリン酸化ペプチドでブロックされている。